

令和3年度入学試験問題

小論文

(医学部保健学科)

(90分)

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験中に落丁・乱丁や印刷の不鮮明な箇所などに気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせて下さい。
3. 解答用紙を別に配付しています。解答は、問題と同じ専攻、同じ番号の解答用紙に記入して下さい。指定の解答用紙以外に記入したものは無効です。
4. 監督者の指示に従って、解答用紙の指定された欄に受験番号を記入して下さい。
5. 解答用紙にアルファベット、算用数字を記入する場合には、1マスに2文字ずつ入れて下さい(ただし、字数が奇数の場合は、末尾の1文字は1マスに入れて下さい)。
6. 問題は、専攻によって異なります。
 - (1) 看護学専攻 **1**
 - (2) 理学療法学専攻 **2**
 - (3) 作業療法学専攻 **3**
7. 配付された問題冊子および下書き用紙は、試験終了後、持ち帰って下さい。

1

(医学部保健学科看護学専攻)

出生前(しゅっせいぜん)診断に関する以下の【事項説明】、【書籍からの引用文章】、【図】、【表】を読み、問に答えなさい。

【事項説明】

出生前診断とは、「妊娠中の胎児になんらかの先天的な病気を見つける検査、特にその中でも選択的人工妊娠中絶が可能な妊娠の早い時期に、羊水検査や絨毛生検*、あるいは新型出生前診断**といった検査によって、胎児の染色体の病気を見つけ出す目的で行われる検査」です。出生児の3.0～5.0%は先天性疾患(病気)を持ち、そのうち染色体疾患によるものが25%程度とされています。染色体疾患の半数以上は「ダウン症候群」です。

*羊水検査・絨毛生検：妊娠子宮内の羊水あるいは胎盤の絨毛を採取し、胎児由来細胞を培養して胎児染色体を調べる検査方法。

**新型出生前診断(NIPT：non-invasive prenatal genetic testing)：妊娠している母体から血液を採取し、胎児染色体を調べる検査方法。検査を受けられるのは、35歳以上の高齢妊婦、染色体疾患の子どもの出産経験がある、超音波検査等で異常が指摘された人という条件がある。

著作権の関係上、省略します。

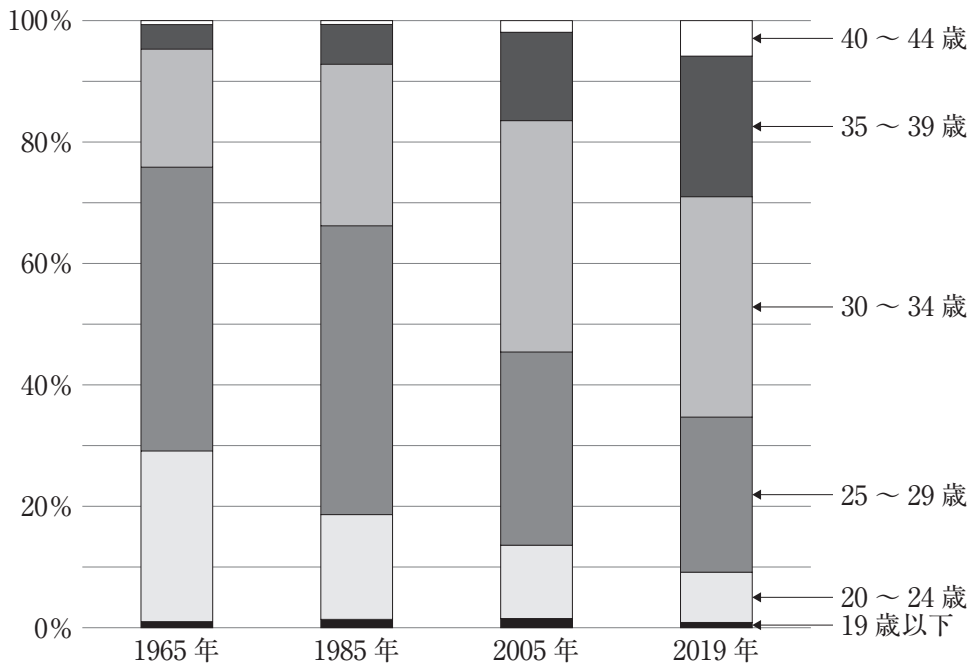
著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

出典：室月淳. 出生前診断の現場から 専門医が考える「命の選択」. 集英社
新書より抜粋, 一部改変

【図】母の年齢別出生数の割合の年次推移



厚生労働省 HP 人口動態統計資料より作成

著作権の関係上、省略します。

出典：Snijders RJ, Sundberg K, Holzgreve W, Henry G, Nicolaides KH.
Maternal age- and gestation-specific risk for trisomy 21. Ultrasound
Obstet Gynecol 1999; 13: 167-170. より作成

問 あなたの考えを以下の(1)(2)をあわせて 800 字以内で述べなさい。

- (1) 「出生前診断」の現状と課題について、【事項説明】、【図】、【表】から読み取ることができる内容を引用し、さらに【書籍からの引用文章】における著者の主張を読み取ってまとめなさい。
- (2) その上で、出生前診断の倫理的問題に関するあなたの考えを述べなさい。

2

(医学部保健学科理学療法学専攻)

以下の文章は、いわゆる「ウィズコロナ(with corona)」時代において円滑なリハビリテーションを進めることの困難さを示す患者の手記である。この手記を読み、「ウィズコロナ」時代にリハビリテーションを円滑に進めていくために必要な方策について、あなたの考えを 800 字以内で述べなさい。

著作権の関係上、省略します。

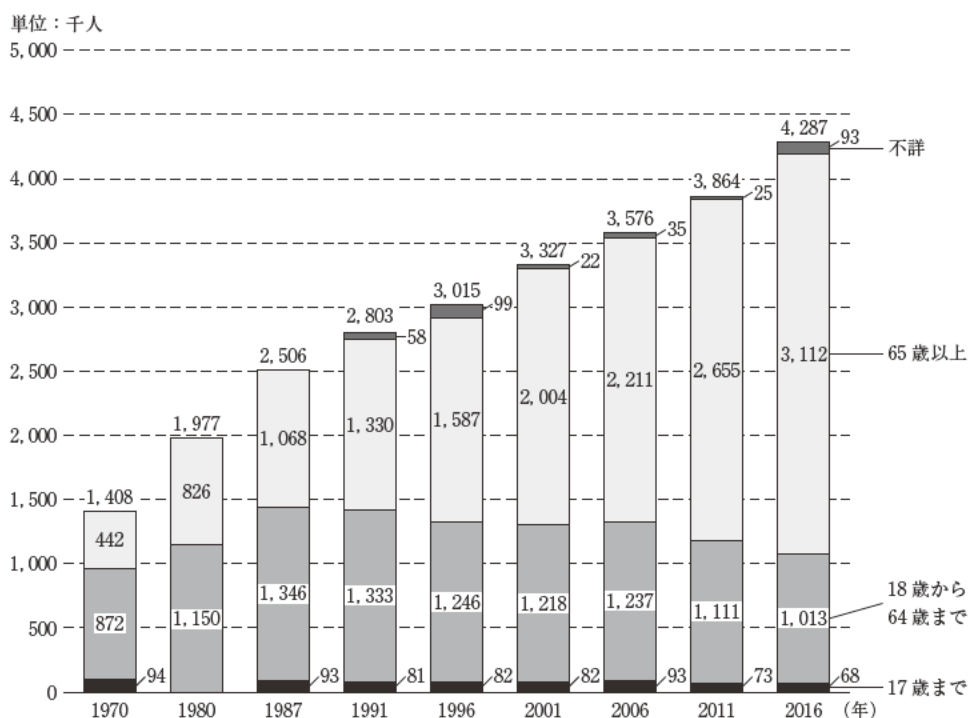
出典：西日本新聞ニュース「感染怖くてリハビリ遠のく」より抜粋，一部改変

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/624209/>

3 (医学部保健学科作業療法学専攻)

日本は平成 26 年 1 月に障害者の権利条約を批准しました。そして、障害や病気などと向き合い、全ての人々が活躍できる社会を目指した社会づくりを進めています。下の図は、内閣府が発表した令和元年版障害者白書で報告された在宅の身体障害児・者の年齢階層別の人数の推移です。この図を参照して以下の間に答えなさい。

年齢階層別在宅身体障害児・者数の推移



注 1：1980 年は身体障害児(0～17 歳)に係る調査を行っていない。

注 2：四捨五入で人数を出しているため、合計が一致しない場合がある。

資料：厚生労働省「身体障害児・者実態調査」(~ 2006 年),
厚生労働省「生活のしづらさなどに関する調査」(2011・2016 年)

出典：令和元年版 障害者白書(内閣府) 参考資料「年齢階層別障害者数の推移(身体障害児・者(在宅))」を一部改変

問 1 年齢階層別在宅身体障害児・者数の推移の特徴を挙げ、そこから考えられる問題点についてあなたの考えを 400 字以内で述べなさい。

問 2 問 1 で述べた問題点を作業療法士として解決するために、あなたが大学で学ぶべきことについて 800 字以内で述べなさい。